

大会名称: **第25回東北大学バスケットボールリーグ
兼全日本大学バスケットボール選手権大会 東北地区予選会**

開催場所: **東北学院大学泉キャンパス**
 試合区分: **No. 0907B1 1次リーグ女子**
 期日: **2024/9/7(土)** 主審: **山本光太郎**
 開始時間: **13:00** 副審: **角田穂乃香**
 副審: **米澤藤**

富士	○	103	●	34	岩手
一部4位					一部6位

富士大学

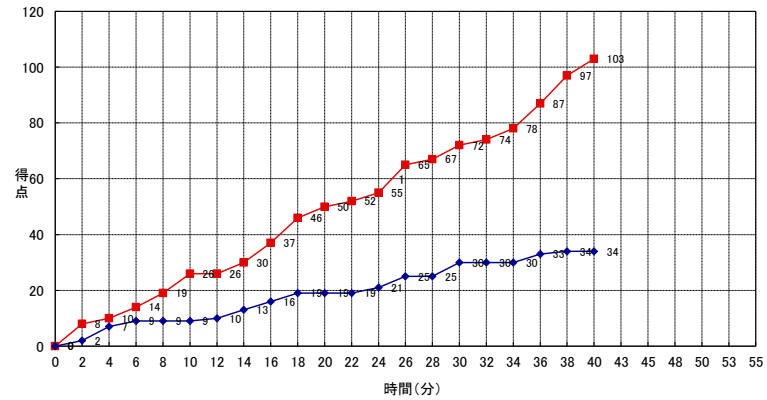
No.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS			AS
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT	
5	*	川村秋桜花	26	4	4	7	7	0	5	0	0	4	4	0
1		細川音羽	9	3	6	0	0	0	0	2	2	0	2	2
3		齋藤梨緒	2	0	0	0	1	2	2	2	0	2	2	0
4		杉村和夏	19	0	1	9	13	1	2	0	1	5	6	0
10		佐々木心晴	4	0	1	2	4	0	0	0	2	2	4	0
17		野呂心海	12	2	4	3	4	0	0	1	1	3	4	1
18		長澤由優	3	1	5	0	1	0	0	2	0	1	1	0
23	*	杉山夢子	6	2	3	0	2	0	0	0	0	1	1	1
24		西沢鼓	5	1	3	1	1	0	0	0	1	0	1	0
25	*	畑中悠奈	4	0	1	2	3	0	0	0	1	1	2	3
26	*	阿部彩華	0	0	1	0	2	0	0	2	0	0	0	0
30	*	齋藤亜海	2	0	2	1	1	0	0	3	1	1	2	0
31		菅原莉衣架	2	0	2	1	2	0	0	0	0	2	2	0
37		中村南美	9	1	1	3	9	0	0	0	3	3	6	0
77		奥山せり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
TEAM														0
合計			103	14	34	29	50	3	9	12	12	25	37	7
				41.2%	58.0%	33.3%								

岩手大学

No.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS			AS
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT	
24	*	松尾 彩加	15	3	6	3	5	0	1	1	1	2	3	0
13	*	山根 愛絵	4	1	3	0	4	1	4	2	1	2	3	0
17	*	稲村 朱音	8	0	3	1	10	6	8	1	3	0	3	1
18		阿部新菜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0
19	*	増田 里央	2	0	0	0	5	2	2	0	3	7	10	0
23	*	山下 結生	3	1	2	0	4	0	0	0	0	1	1	9
31		大山和奏	2	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0
78		藤井 優依	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
00		西川恵生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
TEAM														0
合計			34	5	14	5	29	9	15	4	8	18	26	10
				35.7%	17.2%	60.0%								

PTS: ポイント FG: フィールドゴール F: ファウル AS: アシスト
 M: 成功 3P: 3ポイントシュート OR: オフェンスリバウンド S: スターター
 A: 試投 2P: 2ポイントシュート DR: デフェンスリバウンド OT: 延長
 %: シュート率 FT: フリースロー TOT: トータルリバウンド

得点経過



ゲームレポート

○第一クォーター
 富士大学は、オールコートディフェンスから相手のミスを読み、速攻で点数を重ねていき、岩手大学は、1対1を中心に攻めようとするが富士大学のディフェンスに捕まるが、小さなミスを見逃さず、少しずつ点数を重ねるが24対9で富士大学がリードで第一ピリオドが終わった。

○第二クォーター
 第二ピリオドも、富士大学の激しいディフェンスで岩手大学に流れをつかませず、スリーポイントや速攻などで得点を量産する。それに対し岩手大学は、オールコートディフェンスに対応できず、点差をひろげられてしまい、50対19で富士大学がリードして前半を折り返した。

○第三クォーター
 第三ピリオドが始まって約3分間点数が動かず硬直した時間が続いたが、岩手大学の#24がジャンプシュートを決め、流れを掴みかけ#17を起点としたオフェンスを展開しゾーンディフェンスを展開していたが富士大学のオフェンスリバウンドが続いた。試合終了間際に富士大学#24のスリーが入り72対30とさらに点差をひろげ第三ピリオドが終わった。

○第四クォーター
 富士大学が集中を切らさず点数を少しずつ重ねていき、岩手大学はたまたまタイムアウトを取った。タイムアウト後、富士大学の#17のスリーポイントと#10のスティールで流れを切らさず103対34の富士大学勝利で試合を終えた。

○総評
 1試合通して富士大学の激しいディフェンスが目立つ試合となり、終始試合を優位に進めていた。しかし、岩手大学が鋭いドライブやフリースローで確実に点を重ね粘りを見せたが、103対34と大きなリードを許す展開となり、富士大学の勝利で試合が終わった。